

毎週日曜発行
2024 11/3

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みんな 子ども だった!?

54

宮城県を中心に寄席やラジオで活躍する漫才師コンビ「ニードル」は、宮城弁の軽快な話芸で人気を集めています。ともに宮城県東松島市出身の伊藤政仁さん(39)とGAKIO(ガキオ)さん(39)は中学の同級生。その頃の経験がお笑いの道に導いてくれたんだって。



クラスによくいる目立ちたがり屋の小学生だったという2人。伊藤さん

きょうのテーマ



ニードル (39歳・漫才師)

ニードル ともに1985年生まれの伊藤政仁さん(左)がボケ、GAKIO(石垣進之介・いしがきしんのすけ)さんがツッコミを担当(たんとう)する。2001年デビュー。漫才協会(東京)所属。東松島ふるさと復興(ふっこう)大使も務(つと)める。

好きなこと、なりたいたいものに取り組んでいると失敗し、遠回りすることもある。それでも諦めずに頑張るってほしいな。食わず嫌いをせず、いろいろなことに興味を持ち、チャレンジするのもありだよ。

は漫画の主人公に憧れます。消防士に、手先が器用なGAKIOさんは漫画家になりました。後になり、仲良くなりま

す。出会いは中学1年の時。同じクラスで席が前

中1で初ステージ大受け

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

した。ある日、文化祭のステージがあると知った伊藤さんは、GAKIOさんともう1人の友人を誘い、トリオで「ニードル」を結成しました。放課後にせりふを特訓し、本番は友達や保護者に大受け。「スポーツでゴールを決めたような達成感。俺、お笑いやる」って決めた(伊藤さん)。



中学生ながら地元の公民館を借りて初ライブを開きました。GAKIOさんいわく「1時間の予定が、グダグダになって15分で終わっちゃった」。でも、みんなと違う事をするのが楽しかったんだって。

高校1年の夏、仙台のお笑い集団「ライズ」に所属し、プロのコンビとして初舞台を踏み出した。ネタ帳を作り、

互いの家に通って日々、練習を重ねたそうです。仙台市内の専門学校に進んだ2人は進路に悩みつつも「この仕事で食っていきたい」(GAKIOさん)と改めて、お笑いの道に進むと決めたといっています。

田舎のばんつあん(おばあさん)、宮城弁の桃太郎など、今やレパートリーは数え切れないほどに。2018年、仙台に誕生した常設寄席「魅知国定席 花座」で定期的に高座に立ち、話芸に磨きをかけています。2人は「お客さんが涙を流してヒーヒー言う笑いを目指す」と力を込めます。

ニードルは宮城県大和町まほろばホールで9日にある演芸会「魅知国たいわ寄席」に出演予定。25年2月8日には、青葉区のエル・パーク仙台で、単独ライブ「楽宴」を開きます。

今週の注目ニュース

◇5日(火) 米大統領選挙、投票開票
新しい米大統領が決まります。女性初の大統領を目指す民主党候補ハリス副大統領(60)と、返り咲きを狙う共和党候補トランプ前大統領(78)の戦い。各州に割り当てられた選挙人の過半数獲得を競います。

みんなの紙面

- 2面 からだ×うんどう×けんこう
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 かほく防災記者リポート